

古典探究	単位数	4単位	学科・学年・学級	
------	-----	-----	----------	--

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編古典探究」(古探 002-901)
副教材など	「新編古典探究学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「よくわかる新選古典文法」 / 「新選古典文法ノート」 / 「新徹底理解高校漢文」 / 「新徹底理解高校漢文ワーク」 / 古語辞典 / その他、QR コンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
 - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
 - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称、配当月を示した。

《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（読む）、教材名、ページ数、配当時数を示した。

《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力、判断力、表現力等」の指導事項

⊕ …… 「思考力、判断力、表現力等」の言語活動例

《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

記号の説明

* …… 指導上の留意点や別案

《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて、文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて、冒頭を「（領域名）において、」として領域を明示し、更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は、扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、次の4つの内容を全て含め、各教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫しながら設定している。また、文末は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

記号の意味

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例《部分サンプル》

Ⅱ部 3年次2単位配当

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ = 学期				
古文編1 随筆を味わう (=月)				
読む 枕草子 P84 4時間 ■ 古文の窓4 『枕草子』のパロディ P89	[知技] (1)ア、イ、ウ、エ/(2)ア、イ、ウ [思判表] 読むこと(1)ア、イ、ウ、オ、カ [知技] (1)ア、イ、ウ、エ/(2)ア、イ、ウ [思判表] 読むこと(1)エ	・随筆の内容を自分と関係づけながら、もの見方、感じ方、考え方を広げる。	□この作品の内容と作者について、今までの学習で得ていた知識とともに、簡単に整理し、理解する。 【ありがたきもの】 1 この章段の「ありがたし」の意味を、列挙されているものから類推する。(手引き1) 2 列挙された事例の特徴を考える。(手引き2) 3 『枕草子』のパロディである『犬枕』、『尤之双紙』の一部を読み、内容を理解するとともに、それぞれの工夫について考える。(古文の窓5) 【九月ばかり】 1 作者の自然を見る視線の鋭さが、どの描写に見られるかを読み取る。(手引き1) 2 「をかし」の語に込められている作者の心情を読み取る。(手引き2)	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値につ

			<p>【中納言参り給ひて】</p> <p>1 登場する人物を挙げ、会話部分が誰の言葉であるかを指摘する。(手引き1)</p> <p>2 「さては…くらげのななり。」について、その意味内容を読み取る。(手引き2)</p> <p>3 隆家と作者の会話から、二人の人物関係について理解する。</p> <p>4 末尾の記述に表れている作者の心情を読み取る。(手引き3)</p> <p>【雪のいと高う降りたるを】</p> <p>1 場面を読み取り、発言の主体と動作とを把握する。(手引き1)</p> <p>2 作者のどのような行動が中宮の心になつたのかを読み取る。(手引き2)</p> <p>3 女房たちが作者をどのように評価していたかを読み取る。(手引き3)</p>	<p>いて考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【主】 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>〔言語〕現代版「ありがたきもの」を文語で書く</p> <p>P90</p> <p>1時間</p>	<p>【知技】 (1)ア、イ、ウ、エ/(2)ア、イ、ウ</p> <p>【思判表】 読むこと(1)ウ、オ、ク</p> <p>㊦ 読むこと(2)ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文語で書くことを通して、古典の語彙や表現についての理解を深める。 	<p>1 改めて、古語「ありがたし」の意味を確認するとともに、『枕草子』の「ありがたきもの」の表現の特徴を整理する。</p> <p>2 現代版「ありがたきもの」を文語で書くために、「ありがたきもの」を列挙する。(課題1)</p> <p>3 列挙したものを精選し、現代語で下書きする。(課題2)</p> <p>4 文語を用い、助動詞・助詞を適宜使って清書する。(課題3)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。

		<p>5 文語文による現代版「ありがたきもの」を書くにあたって、どのような工夫をしたか、『枕草子』の「ありがたきもの」をどのように参考にしたか、発表する。(課題4)</p> <p>6 書いた作品を互いに読み合い、観点をもとに批評し合う。(課題5)</p> <p>□各章段の内容上の特徴についてまとめ、『枕草子』の内容上の三つの分類に区分する。</p>	<p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。</p>
--	--	---	---

漢文編1 小話を読む(=月)

<p>読む 小話一三編〔言語〕 P218 7時間</p>	<p>[知技] (1)ア、イ / (2)イ、エ [思判表] 読むこと(1)ア、イ、エ、ク ㊦ 読むこと(2)イ</p>	<p>・話の展開や内容のおもしろさを味わい、人々のさまざまな考え方や生き方について考える。</p>	<p>□『十八史略』について、第I部で学習した内容を振り返る。</p> <p>□第I部の「三国志の世界」の登場人物について、誰に共感したかを述べ合う。</p> <p>【鼓腹撃壤】</p> <p>1 全文を音読する。 2 書き下し文を正確に記述する。(手引き1) 3 全文を正確に音読した後、主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き1) 4 疑問形・二重否定・反語形・使役形の用法を確認する。</p>	<p>[知技]</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p>
--	--	---	---	---

			<p>5 帝堯が入手した情報についてまとめる。(手引き 2)</p> <p>6 本文から読み取れる帝堯の人柄について整理する。(手引き 3)</p> <p>7 「鼓腹撃壤」の意味を考える。(手引き 4)</p> <p>【宋襄之仁】</p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き 1)</p> <p>3 主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>4 受身形の句法を確認する。</p> <p>5 楚軍に対する、目夷と襄公の対応の違いをまとめる。</p> <p>6 全文を正確に音読する。</p> <p>7 「以為」の用法を確認する。</p> <p>8 「世笑」の理由を考えて説明する。(手引き 2)</p> <p>9 襄公の考え方や生き方について、自分の意見をまとめる。</p> <p>10 襄公の考えと孫子の考えを比較する。(言語活動)</p> <p>【燕雀安知鴻鵠之志哉】</p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き 1)</p> <p>3 第一段落について、主語を確認しながら</p>	<p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】積極的に文章のおもしろさを味わい、登場人物の言動等の記述からその人柄や考え方について考察しようとしている。</p>
--	--	--	---	---

			<p>ら内容を正確に捉えて現代語訳する。 (手引き 1)</p> <p>4 仮定形と反語形の句法を確認する。</p> <p>5 陳勝の傭者に対する発言と、傭者の返答、それに対する陳勝の気持ちをまとめる。(手引き 2)</p> <p>6 全文を音読した後、第二段落について主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>7 二人称「若」について確認する。</p> <p>8 全文を正確に音読する。</p> <p>9 陳勝の徒属に対する発言について、どんな点に説得力があったのかをまとめる。(手引き 3)</p> <p>10 反語形の句法を確認する。</p> <p>11 志を立てる意味の故事成語についてまとめる。(手引き 4)</p> <p>□「鼓腹撃壤」「宋襄之仁」「燕雀安知鴻鵠之志哉」の登場人物の言動を確認し、その人柄を探る。</p> <p>□この単元で学習した疑問形・二重否定・使役形・受身形・仮定形・反語形の各句法についてまとめる。</p>	
--	--	--	---	--